

スポーツ・フォー・トゥモローにおける地方自治体へのお願い

SPORT
FOR
TOMORROW

スポーツ・フォー・トゥモロー（SFT）とは・・・

- ・2013年9月、ブエノスアイレスで開催された IOC総会において、安倍総理が招致プレゼンテーションを実施。
- ・2014年から**2020年までの7年間**で開発途上国をはじめとする**100カ国以上・1000万人以上**を対象として、我が国が、世界のよりよい未来をめざし、スポーツの価値を伝え、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントをあらゆる世代の人に広げていくことを約束。現在、この取組を官民連携のオールジャパン体制で推進している。

◆ホストタウン事業との連携について

- ・ホストタウンに既に登録されている団体については、特例としてSFTの入会審査なく、事業申請のみ提出いただければ、SFT事業で対外的に発信している数にカウントさせて頂くこととしました。
- ・申請頂いた事業に関しては、SFTのホームページやフェイスブックにおいて、広報発信をさせていただきますので、ホストタウン登録自治体の皆様におかれましては、積極的な事業申請をお願いいたします。

◆SFTに入会頂くメリット

- ・SFT入会のメリットとして、スポーツを通じた貢献事業や交流事業の実施をお考えの自治体に対し、SFT会員（民間企業、国内競技連盟、NGO団体、大学など）とのマッチングを支援が可能です。

これを機にスポーツ・フォー・トゥモローへの入会申請を宜しくお願い致します。

スポーツ・フットゥモローの主な取り組み



スポーツ関連施設の整備



スポーツイベントの開催支援



ボランティアの派遣



学校体育カリキュラム策定支援

アジア太平洋こども会議・イン福岡 スポーツ交流事業



- スポーツ・フォー・トゥモロー初の地方公共団体実施による認定事業。
- 福岡県が今回27回目を迎える招聘事業で、「運動会」と「プロサッカー選手によるサッカー教室」というスポーツ国際交流プログラムを実施。
- アジア太平洋33カ国から集まった210名の「こども大使」が言葉や文化を超えてスポーツでの交流を行った。

千葉県一宮町から南アフリカへのサーフボード寄贈事業



- 千葉県一宮町が東京2020大会の新種目であるサーフィンの競技会場に正式決定したことを受け、「一宮町から世界へ何かできることはないか？」という思いからスポーツ庁に相談あり
- **SFTコンソーシアム内でのマッチングにより**、ストリートチルドレンにサーフィンを教えている南アフリカのNGO団体「Surfer's not street children」が、寄贈先として浮上。南アフリカへの海上輸送は**SFT会員の民間企業にて無償提供の目途が立つ**。
- 5月末に同町で開催される国際サーフィン大会に合わせ、中古サーフボードの収集を行い、約100本のサーフボードを寄贈の予定。